

福祉 ぐんま

NO. 257
2016 夏号

 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■もくじ

- *特集「応援します、福祉の仕事」福祉マンパワーセンターの取り組み…2～3
- *平成27年度事業報告・決算概要…4～5
- *福祉ハートフルフェア開催…5
- *昭和村ボランティアセンター開設…6
- *共同募金会からのお知らせ…6
- *平成28年度ふれあい・いきいきサロン研修会の開催…7
- *平成28年熊本地震関連情報…7
- *素敵な笑顔…8
- *ペットボトル飲料水「極/GoQu」販売…8
- *編集後記…8

社会福祉法人 橘風会 特別養護老人ホームねむの丘
佐藤 潤さん
(関連記事は3ページに掲載)



「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

応援します、福祉の仕事

～群馬県福祉マンパワーセンターの取り組み～

群馬県福祉マンパワーセンターでは、職業安定法に基づき厚生労働大臣の許可を受け「無料職業紹介」を行っています。「職業紹介」と聞くと、ハローワークを思い浮かべる人が多いと思いますが、ハローワークは全ての産業・職種の求人を取り扱っているのに対して、福祉マンパワーセンターは、福祉分野の求人を専門に取り扱っているところに違いがあります。

なお、法律上の名称は「福祉人材センター」といって、各都道府県にあります。群馬県では、さらに研修機能を有した「群馬県福祉マンパワーセンター」を設置。群馬県社会福祉協議会が管理・運営を担っています。



求人検索の画面

インターネットによる求人情報検索

福祉のお仕事

検索



求人情報の閲覧スペース



福祉マンパワーセンター入口

主 な 事 業

① 福祉人材無料職業紹介事業

福祉の仕事がしたい人（求職者）と、働く人を探している施設など（求人事業者）の橋渡しをしています。

② 福祉人材確保に関する面接会などの実施

就職面接会や求職登録者を対象としたセミナーを実施しています。

③ 福祉人材確保相談

福祉施設からの人材確保に関する様々な相談に応じ、援助を行います。

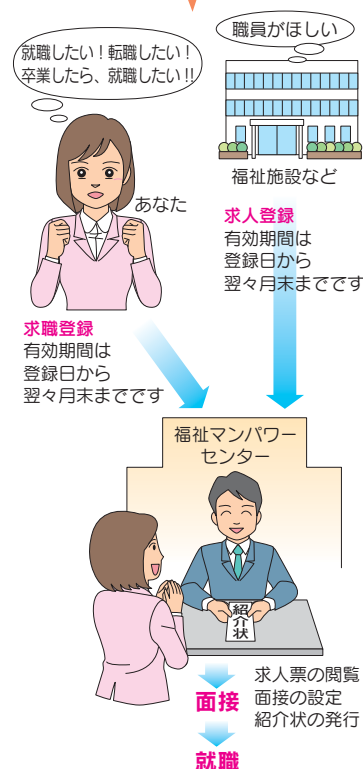
④ 社会福祉従事者に対する研修の実施

福祉施設従事者、社会福祉関係者等を対象とした各種の研修事業を行っています。

⑤ 社会福祉従事者の福利厚生事業

福祉従事者が明るく安心して働き続けることができるように、福祉厚生 の増進を図るための事業を実施しています。

窓口においては、次のような手順で職場を紹介します。



福祉のイメージアップを図ります

● 高校生のための福祉セミナーの開催

福祉課程を有する高校に出向いて行う出前形式のセミナーです。

● 福祉・介護の職場見学バスツアーの実施

福祉分野への就職希望者や福祉の仕事に関心のある方を対象に、実際に福祉施設や事業所内を見学して、現場の雰囲気を知っていただきます。



県内には、群馬県福祉マンパワーセンターだけでなく、支所の位置づけとして「福祉人材バンク」が、2ヶ所に設置されています。高崎市と太田市にあり、それぞれ、西毛地区と東毛地区を担当しています（福祉マンパワーセンターは、北毛・中毛地区を担当）。

■ 群馬県福祉マンパワーセンター

TEL 027-255-6600 FAX 027-255-6040

利用時間：9時～17時15分（月～金）

土・日・祝日はお休み

受付時間：9時～16時45分

〒371-8525 前橋市新前橋町13-12

（群馬県社会福祉総合センター6階）



■ 高崎市福祉人材バンク

TEL 027-324-2761 FAX 027-320-8378

利用時間：9時～16時（月～金）

土・日・祝日はお休み

受付時間：9時～15時30分

〒370-0045 高崎市東町80-1（高崎市労使会館1階）



■ 太田市福祉人材バンク

TEL・FAX 0276-48-9599

利用時間：9時～17時15分（月～金）

土・日・祝日はお休み

受付時間：9時～16時45分

〒373-0817 太田市飯塚町1549（太田市福祉会館1階）



福祉分野の人材確保や定着につなげます

● 福祉ハートフルフェア（福祉人材確保就職面接会）の開催

求人事業者と直接の面接機会を持つことができる機会です。福祉・介護の職場で仕事をするための知識、技術等について直接に説明を聞くことができます。



● 地区別ミニ就職面接会の開催

県全域だけでなく、ブロック単位による地区別の就職面接会も開催しています。



● 福祉の就職ガイダンスの開催

就職に結びつかない求職登録者や介護職の未経験者にガイダンスを行います。



● キャリア支援専門員による支援

質の高い福祉・介護人材を確保するため、キャリア支援専門員を配置。個々の求職者に合った職場開拓と、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行って、就労や定着を支援します。



● 大学等へのPR訪問

福祉マンパワーセンターを広く知って活用いただくため、大学等を職員が訪問して、センターの概要や事業内容についての説明を行います。



平成27年度事業報告・決算 概要

群馬県社会福祉協議会の基本理念に掲げる「県民だれもがともに支え合い、住みなれた家庭、地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会」の実現のため、活動推進計画に基づき、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係社会福祉団体、県との連携の下で、各種事業を実施しました。その概要を報告します。

● 主な実施事業 ●

I 地域におけるきめ細やかな福祉活動の展開

○ 住民による地域福祉活動の活性化促進

- ① 地域福祉活動計画の策定支援
・ 研修会 20名
- ・ 市町村社協への支援 17回
- ② 市町村社協役職員への研修
・ トップセミナー 163名
- ・ 見守り支援セミナー 179名
- ・ 市町村社協経理研修会 78名
- ③ 生活支援体制整備事業
・ 体験フォーラム 291名
- ・ 生活支援コーディネーター養成研修 285名
- ④ ふれあい・いきいきサロン
・ 設置運営数 2,141カ所
- ・ 研修会の開催

5回1489名

⑤ 民生委員児童委員活動

- ・ 単位民児協会長研修会 191名
- ・ 副会長研修会 258名
- ・ 2期目委員研修 5回904名
- ボランティア・市民活動、福祉教育の充実
- ① ボランティアフォーラム 273名
- ② 福祉教育の推進
・ 副読本の作成
- ・ 社会福祉(地域指定)協力校連絡会議の開催
- ・ 実践研究会の実施
- ③ ボランティア団体との協働による事業実施
- ④ 就学援助金の給付
・ 交通遺児就学援助金
- ・ 保護児童就学援助金

II 地域における相談・生活支援体制の強化

○ 生活困窮者への支援

- ① 生活困窮者自立相談支援事業の実施
・ 相談 143件
- ・ 自立相談支援事業申込 68件
- ・ 自立支援プランの作成 16件
- 生活福祉資金の貸付
- ① 生活福祉資金貸付事業
貸付決定 819件
貸付決定額 179,329,983円
- ② 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業
貸付決定 2件
貸付決定額 8,593,600円
- ③ 臨時特例つなぎ資金貸付事業
貸付決定 2件
貸付決定額 71千円
- ④ 面談を通じての援助活動
延べ88件
- ⑤ 償還指導の実施 520件
- ⑥ 運営委員会等の開催
- 地域における権利擁護体制の構築
- ① 日常生活自立支援事業の推進
・ 13基幹社協に一部委託
・ 利用契約締結数 199件
・ 実利用契約者数 972名

- ・ 権利擁護セミナー 210名
- ・ 成年後見等研修会 300名
- ② 虐待防止セミナー 310名
- ③ 心配ごと相談所中央センター・相談件数 39件
- ・ 巡回研修 7回

III 社会福祉法人・施設の福祉サービス事業者への支援

○ 社会福祉法人・施設における経営の強化

- ① 経営指導事業 51件
- ② 障害福祉部会の開催
- ③ 種別協議会・団体への支援
・ 社会福祉法人経営者協議会
・ 青年経営者会
・ 子育て支援センター他
- 社会福祉法人・施設への支援
- ① 社会福祉法人経営セミナー 382名
- ② 民間社会福祉施設等職員共済事業
・ 448法人1,084施設
17,304人加入
- ・ 実務研修会 365名
- ③ 介護等体験
・ 562名 250施設受入

IV 福祉サービスを支える福祉人材の確保への取り組みと人材育成への貢献

- ① 福祉人材無料職業紹介事業

の実施

- ・ 新規求人数 88,857名
- ・ 新規求職者数 2,541名
- ・ 紹介数 353名・就職数 310名
- ・ 応募数 607名

② 福祉人材確保相談事業の実施

- 相談件数 7,929件
- 求人開拓 115施設訪問
- ③ 福祉人材確保等に関する説明会・研修会の実施
・ 福祉ハートフルフェアの開催
・ 地区別ミニ就職面接会の開催
・ 福祉の就職ガイダンスの開催
・ 出張相談会の実施
- ④ 福祉・介護の仕事に関するイメージアップの活動展開
・ 福祉従事者養成校に対する情報提供・高校生のための福祉セミナーの開催等
- ⑤ 介護福祉士修学資金貸付事業
新規貸付11名
貸付決定額3,973千円
- ⑥ マッチング機能強化事業
・ 出張相談会 258件
- ⑦ 介護職員等確保対策事業
⑧ 潜在保育士研修事業
- ⑨ 定着支援セミナー 137名
- ⑩ 介護支援専門員実務研修受講試験の実施
受験者数 1,918名
合格者数 341名
- ⑪ 福利厚生センター

101 法人・226 事業所
加入職員数 4,022 名

V 福祉サービスの質の向上

① 福祉サービス第三者評価の推進

・運営委員会
・評価調査者養成研修会
・説明会・出張相談

② 運営適正化委員会への支援
福祉サービス運営適正化委員会

・苦情解決部会 6 回
・運営監視部会 2 回

・苦情相談の受付 86 件
(苦情 35 件、その他 51 件)

・苦情解決セミナー 247 名
・事業者段階における苦情解決体制の整備アンケート調査

VI 災害時における活動支援体制の整備

① 市町村災害ボランティアセンターの支援

・災害ボランティアセンター設置訓練 4 回
・市町村社協地域防災力強化研修 37 名

② 県総合防災訓練等の参加
災害福祉広域支援ネットワーク事業の実施

・検討会の開催 2 回

・関係者会議の開催 7 回
・研修会の開催 133 名

③ 平成 27 年関東・東北豪雨被害に伴う支援活動

・災害ボランティアセンターへの職員派遣 延べ 43 人
・ボランティアバス 4 回 延べ 129 人

・支援活動報告会

VII 県社協機能と組織の充実

① 理事会・評議員会 4 回

② 監事監査 1 回

③ 外部監査の開催 4 回

④ 活動推進計画の策定

・策定委員会 4 回

・パブリックコメントの実施

⑤ 群馬県社会福祉大会

・表彰 413 名(団体)

・参加 1,079 名

⑥ 福祉バス「愛の募金号」

年間 5,299 名

⑦ 広報機能の強化

・ホームページによる情報発信

・「福祉ぐんま」4 回発行

⑧ 社会福祉振興基金

・対象 33 団体

・助成額 4,824,256 円

資金収支計算書

(自) 平成 27 年 4 月 1 日 (至) 平成 28 年 3 月 31 日

(単位: 円)

区分	収入合計額 (A)	支出合計額 (B)	前期末支払 資金残高 (C)	当期末支払 資金残高 (= A - B + C)
社会福祉事業				
社会福祉事業拠点	426,061,944	437,162,408	121,585,741	110,485,277
公益事業				
介護福祉士等修学資金貸付事業拠点	575,980,824	17,457,888	81,568,584	640,091,520
民間社会福祉施設等職員共済事業拠点	889,737,052	866,963,937	389,069,734	411,842,849
社会福祉施設整備資金貸付事業拠点	83,918,076	26,744,013	473,479,989	530,654,052
社会福祉振興基金事業拠点	315,992,444	312,934,760	20,685,577	23,743,261
生活困窮者自立相談支援事業拠点	34,067,000	34,067,000	0	0
生活福祉資金会計				
生活福祉資金会計	132,092,918	231,806,424	1,145,135,110	1,045,421,604
生活福祉資金事務費会計	70,428,145	67,198,386	8,168,100	11,397,859
要保護世帯向け不動産担保型生活福祉資金会計	40,743,547	39,586,835	10,252,847	11,409,559
臨時特例つなぎ資金会計	110,600	688,856	13,934,332	13,356,076
合 計	2,569,132,550	2,034,610,507	2,263,880,014	2,798,402,057

福祉のお仕事への就職を応援します！

福祉ハートフルフェア
(福祉人材確保就職面接会)
を開催します。

「福祉のお仕事に関心のある方、ぜひご参加ください。採用担当者や直接話しをして、現場での仕事内容を詳しく知ることが出来ます」

● 日時 平成 28 年 8 月 24 日(水)
13 時～16 時

● 会場 ヤマダグリーンロード前橋
サブイベントエリア

● 主催 群馬労働局・ハローワーク(公共職業安定所)・群馬県(公財)介護労働安定センター・群馬支所(社福)群馬県社会福祉協議会・福祉マンパワーセンター

● 内容 福祉分野への就職希望者を対象とした県内施設・事業所との就職面接会

● 参加費 無料

● 申込 事前申込不要です。直接、会場へお越しください。

昭和村ボランティアセンター開設 !!

昭和村社会福祉協議会では、1年間の準備期間を経て、平成28年度よりボランティアセンターを開設しました。この取り組みにより、地域住民主体による地域福祉を推進するために、地域の皆さんの参加・協力による助け合い、支え合いの福祉活動の充実を図ります。

また、昨今の自然災害等においても市町村社協が災害ボランティアセンターの運営を担うなど、その役割や活動が全国的にクローズアップされ、昭和村においても同様の機能が社協に求められています。

今年度は住民相互の助け合いによる福祉ニーズの解決をはじめ、福祉教育の充実、ボランティアに係る広報啓発活動を中心に事業を行い、また災害時には必要に応じ円滑に災害ボランティアセンターへ移行できるよう準備を進めていきます。

記念すべき開設1年目は兼務ではありますが2名の職員体制でのスタートとなりました。専属のスペースは現在ないものの地域住民が気軽に立ち寄れる、気楽に相談できるボランティアセンターにしていきたいと思います。



福祉まつりでの炊き出し体験の様子



ボランティアセンターによる福祉教育の様子



問い合わせ先

社会福祉法人 昭和村社会福祉協議会

〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井624

TEL 0278-20-1126 FAX 0278-24-5161

赤い羽根共同募金 ～あなたの募金は、あなたの町へ。～

平成28年度 配分申請受付のお知らせ

県全体の社会福祉充実を目的とした「広域配分」と各市町村の地域福祉充実を目的とした「地域配分」を実施していますが、ここでは「広域配分」についてご案内します。

※「地域配分」については、各市町村支会のHPをご覧ください。



◇対象団体 社会福祉法人／更生保護法人／公益社団(財団)法人／一般社団(財団)法人／NPO法人／ボランティア団体

◇対象事業 平成29年度に実施する民間社会福祉事業
県域または複数の市町村で行う先駆的福祉活動、ボランティア団体活動なども対象となります。

受付期間 8月1日(月)～9月15日(木)必着 ◎申請用紙配布場所 県共同募金会(前橋市新前橋町13-12)
8月3日(水)に配分申請研修会を行います。配分申請を考えている団体は是非ご参加ください。

詳しくは、県共同募金会のHPをご覧ください。(7月下旬掲載予定)
(ホームページ) www.akaihane-gunma.or.jp お問い合わせ027-255-6596

平成28年度 ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

県内サロン活動の一層の普及・啓発を図るため、県内5ブロックにおいてサロン研修会を開催し、サロン活動者への支援を行っています。

今年度は、ブロックごとに研修会の内容を変え、6月から10月にかけて開催いたします。サロンをもっと楽しむためにレクリエーションに重点を入れるブロック、新しい総合事業を見据えてサロンを取り巻く状況の説明や多様な活動の紹介を行うブロックなど、それぞれの特色を出した内容により、サロン活動を推進します。

地域社会における人間関係の希薄化が進む中、孤立をなくし安心して地域に住み続けることができるよう、住民同士のつながりをもてる「居場所」を提供し、住民同士が支え合うかたちとしてのサロン活動を支援していきます。



平成27年度の研修会の様子

〈各ブロックの日程等〉

ブロック	期 日	会 場	内 容
利根沼田	6月16日(木)	利根沼田文化会館	講演会・レクリエーション研修
中 部	9月30日(金)	前橋市総合福祉会館	講演会・事例発表
東 部	10月5日(水)	太田市社会教育総合センター	事例発表・レクリエーション研修
吾 妻	10月6日(木)	嬬恋会館	説明会・レクリエーション研修
西 部	10月14日(金)	安中市文化センター	事例発表・レクリエーション研修

〈サロン活動とは〉

地域の中でひとり暮らしの方や閉じこもりがちの方などが、孤立しないように、住民やボランティア等が気軽に集まり、楽しく過ごせるよう支え合う、仲間づくりの活動です。改正された介護保険制度では、新しい総合事業、「住民主体」の生活支援サービスが位置づけられました。サロン活動には、社会参加の促進や介護予防、ニーズの早期発見など様々な効果が期待されています。

平成28年 熊本地震関連情報

4月14日、熊本県熊本地方を震央とする、マグニチュード6.5の地震（前震）が発生し、熊本県益城町で震度7を観測しました。さらに、その28時間後の4月16日には、同じく熊本県熊本地方を震央とする、マグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、熊本県西原村と益城町で震度7を観測し、熊本県や大分県に甚大な被害をもたらし、現在も全国からの支援が継続しています。

県内では、個人をはじめ各関係機関団体等を中心に募金や募金箱の設置、また、ボランティアや職員等による街頭募金などが行われています。

復興には中長期的な支援が必要であり、復興の段階により支援の方法も異なることから、その時々合った支援を継続的に行っていくことが求められます。引き続き皆様からの温かいご支援をお願いいたします。



伊勢崎市ボランティア・市民活動支援センターによる街頭募金

夏号表紙

素敵な笑顔

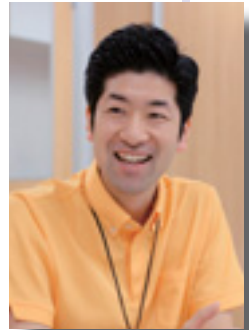
全く違う業界から介護の仕事へ転職し、今年で12年目。あつという間違ったと振り返る佐藤さんに、お仕事に対する思いをうかがいました。

※どのようなお仕事ですか

特別養護老人ホーム勤務なので、朝起きてから寝るまでの生活のケアをさせていただいています。その人によってできることが違うので、それに合わせた介助をすること、そして第2の家と思ってもらえるような空間、雰囲気づくりを心がけています。

※介護の仕事をはじめたきっかけは
以前は事務の仕事をしていて、介護のこともまったく知りませんでした。知り合いから、今でいう介護職員初任者研修、かつてのホームヘルパー2級という資格を勧められたのがきっかけでした。介護の仕事を始めるととても楽しくて、やりがいを感じられるので、こっちの方が向いていたのかもしれません。

※違う業界への転職ですが、戸惑いや不安もあったのでは
人見知りなこともあり、初めは不安もありましたが、周囲に恵まれていました。丁寧に仕事を教えてもらったり、親身になって相談に乗ってくれたり、職場の居心地がとても良くて。また、同期が2人いたので、3人でよく飲みに行ったり、仕事について話せたのがすごく心強かったです。そういったつながりのおかげで仕事も楽しく、転職してから今まで 本当に



あつという間でした。

※仕事をしていて難しいことは
今のケアがその方にとって正解だったのかどうか、ということは日々感じます。色々な方がいらっしやるので、全員同じ介助とはいきません。何年経ってもそこは難しいです。でも、「ありがとう」と言われたり、笑顔が見られたときは一番嬉しいですし、やってよかったなと思います。

※同じ仕事をを目指す後輩にメッセージを
介護って聞くと大変とかつらいとか、そういうイメージが強いのですけれど、それ以上に楽しさややりがいも大きい。だから先入観で決めつけずに、ぜひ経験してもらいたいと思います。それから、私は人見知りな事務職の方が向いていると思うんですけど、今はこっちの方が楽しいです。知らない自分に気づくこともできます。

※今後の目標は
今年度から、主任という立場でみんなを引っ張っていく側になったので、同じ方向を向いて同じ目的に向かえるように舵取りをしていきたいです。まだまだ私自身も未熟なので、一緒に進んでいきたいですね。

お休みの日には、ご自身の野球の練習のほか、最近野球を始めたばかりの小学生の息子さんとキャッチボールをしてリフレッシュしているという佐藤さん。教えているうちにいついつい熱が入ってしまっそうです。

ペットボトル飲料水「極/GoQu」販売



群馬県社会就労センター協議会では、障がい者の労働工賃（収入）向上による安定した生活基盤構築を目指して、その方策のひとつとしてオリジナル商品の開発・販売を進めています。

側面では、障害者優先調達推進法*などの法整備も進んでいますが、現実的には、なかなかその目的が果たせない状況にあり、多方面各位の様々な流通・販売に関わらせて頂くことを模索しています。

そして、この度、主に災害時備蓄用としてのペットボトル飲料水販売を始めました。昨今の防災対策である福祉避難所の整備計画を受けて、行政施設・障害者施設・各種福祉施設などへの販路を目指しています。

また、一般のイベント・会議等でも活用頂くことで、CSR活動（企業の社会貢献）の一環として頂けることや、さらに販売上と同様に、このような障がい者支援に対する取り組みを多くの方々に周知できる広報媒体として機能することが期待されています。

このペットボトル飲料水商品名は「極」（ゴク：GoQu）「最良なこと」「きわめていること」そして「ゴクゴク」

と飲むこと、「ここにゴクッ」そんな思いをこめて命名しました。そして、この飲料水の企画・開発では安心安全な点を最重要視して、群馬県内大手メーカーのご協力のもとに、「谷川山系」から採取した群馬の名水を使用しています。

購入ご希望の方は、以下のいずれかの方法にてご確認、お問い合わせください。

HP : <https://gunma-kyodo.jp/>

E-mail : kyodo@g-shakyo.or.jp

TEL : 027-255-6034

FAX : 027-255-6173

仕様：角ペットボトル500ml×24本（1ケース）2,160円 @90円（税別）

*障害者優先調達推進法：平成25年4月に施行され、国・地方公共団体は、物品等の調達に当たり、優先的、積極的に障害者施設等から調達するよう努めることとなりました。

群馬県社会就労センター協議会
群馬県障害者施設等共同受注窓口

編集後記

熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

群馬県では、4月中旬に、DMAT、DPATの派遣がなされました。今年度、県県社協及び各施設種別協等では、要配慮者に専門的な支援が行えるよう、福祉版DMATの構築に向け検討しています。略称は？、DMATのMに対し、Wでは、「幸せ」と理解すると広すぎる。ケアのCが介護・看護では、Mには狭すぎる。ならばと、社会福祉と世話・配慮では……。名称云々ではなく、まずは、支援に必要なことを明確にすることが大切なのだろう。

群馬県社会福祉協議会
常務理事 山後秀明

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

〒371-8525（専用郵便番号）

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033（代表）

FAX 027-255-6173

URL <http://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 平成28年7月1日